

科目名 放射線安全管理学

1単位 30時間 昼間部2年 前期 担当講師 高島 賢

教育目標

放射線管理学は放射線および放射性同位元素を安全に利用するための学問である。放射線安全管理学は、診療放射線技師の教育の基本である放射線及び放射性同位元素の安全利用を実践するために、法律を十分理解させ、線量評価、安全及び事故対策に関わる知識と技術を習得する。

使用教材 放射線安全管理学 第2版 福士政広ほか 医療科学社

出欠確認方法 点呼 試験 有 評価方法 試験

授業概要（前期）

- 1回 概要
- 2回 放射線障害
- 3回 ICRP勧告の推移とその概要
- 4回 放射線源からの被ばく
- 5回 放射線源の安全取扱
- 6回 放射線の遮蔽I
- 7回 放射線の遮蔽II
- 8回 汚染除去
- 9回 廃棄物処理
- 10回 放射線管理の組織と機構
- 11回 個人の放射線管理I
- 12回 個人の放射線管理II
- 13回 環境の放射線管理
- 14回 異常時の対策と措置
- 15回 最新のトピックス

【実務経験】

診療放射線技師として非密封放射性同位元素を用いた検査および放射線管理業務を5年間担当。また、研究機関において第一種放射線取扱主任者として監督および指導を8年間担当。医療機関および研究機関での実務経験をもとに放射線安全管理について話をします。
(井上)